

令和元年度 第1回向日市社会教育委員の会議	
日 時	令和元年5月17日(金) 午後2時～同3時40分
場 所	向日市役所別館 第7会議室
出席委員	永井委員、高畑委員、植田委員、梅田委員、中本委員、河村委員、横田委員、吉岡委員、竹林委員
欠席委員	築山委員、平野委員、安田委員
事 務 局	永野教育長、小賀野部長、玉城副部長兼文化資料館長、鹿島生涯学習課長、小畑生涯学習課担当課長、芦田図書館長、渡辺文化財調査事務所長、物部天文館長、田中中央公民館長
内 容	1 役員の選出について 2 令和元年度社会教育関係事業計画について 3 令和元年度社会教育委員関係の事業予定について
委員	<p>【開会】</p> <p>○教育長あいさつ</p> <p>○委員長あいさつ</p> <p>○委員長代理あいさつ</p> <p>○委員、職員紹介</p> <p>○議題1 役員の選出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向日市社会教育委員の会について 永井委員長、高畑委員長代理を選出し承認した。 ・乙訓社会教育委員等連絡協議会の役員(会長:1名、理事:2名)について 会長として永井委員、理事として高畑委員長代理、植田委員を選出し承認した。 <p>○議題2 令和元年度社会教育関係事業計画について</p> <p>－生涯学習課、中央公民館、図書館、文化資料館、天文館、文化財調査事務所事業について説明－</p> <p>【生涯学習課事業について】</p> <p>昨年度の学校支援地域本部から名称が変わっている。名称変更の意味があるのか、また内容の関連性や継続性をうかがいたい。向日市は1校未実施だが、その状況についてもうかがいたい。</p>

生涯学習課長	<p>国の事業であり、少しずつコンセプトが進化し、変わってきている。今までは地域が学校を支えようということだったが、現在は学校を核として地域と一緒に連携し、地域も学校も共に良くしていこうというコンセプトになっている。</p> <p>寺戸中学校の状況だが、地域の方々が主役となる事業で、プレーヤーもコーディネーターするのも地域の方々となることから、始めるのも続けるのも困難を伴う時がある。コーディネーターに頼り切ってしまうとたちまち機能しなくなったりすることもある。学校と何をしたいのか、何を支援してほしいかなど十分に相談しながら進めていきたい。</p>
委員	<p>去年から寺戸中学校へ着任し、学校や地域の実情や実態を1年間見てきた。地域のつながりは大事だと思っているので、様子を見ながら進めていきたい。</p>
委員	<p>地域学校協働活動推進事業の内容で、協働となる取り組みはどのようなものになるのか。</p>
生涯学習課長	<p>昨年度は地域に還元するということで、向陽小学校の参道の掃除などを行っている。</p>
委員	<p>学校の計画の中で協働の部分は意識されているのか。</p>
生涯学習課長	<p>学校から一方的ではなく、調整しながら行っている。子どもの為に何ができるのか、考えながら進めていきたい。</p>
委員	<p>人権研修について、聞いただけで実践につなげていくのは難しいと思うが、実践につながる学習活動としていく為にどうしていくのか。</p>
生涯学習課長	<p>わかりやすく、自分で考えてもらえるような内容になるように工夫しており、講師にもそのようにお願いしている。</p>
委員	<p>研修は講座形式かワークショップかなどスタイルも大事だと思うが。</p>
生涯学習課長	<p>講座形式が一番わかりやすいと思う。ワークショップは敷居が高くなる可能性があり、参加者によって工夫していきたい。</p>
委員	<p>2向小の放課後児童サポート事業はどれぐらい参加しているのか。</p>
生涯学習課長	<p>各学年で20人程度の参加があった。</p>
委員	<p>放課後児童サポート事業では安全面を重要視されていたと思うが、内容も充実させていくということか。</p>
生涯学習課長	<p>事業が定着してきて学校ごとに課題を見ながら進めたいと思っている。</p>

委員	府が推進している京のまなび教室とは少し違うと思うが。高学年下校までに低学年を待たせる6時間目だけでは時間が短い。内容の充実を考えた時に、中途半端にならないか。
委員	学校の実情もあると思う。一斉下校だけを目的とするのではなく、取組みをして一緒に帰るとするのが良いのではないかと思う。
委員	【中央公民館事業について】 将棋は学校教育に入っていないのか。
中央公民館長	学校教育にはないが、クラブ活動がある。大盤が手に入ったので、教室を開くことができるようになった。
委員	【図書館について】 レファレンスサービスについて、学校から何件あったのか。
図書館長	昨年度は77件あった。
委員	障がい者サービスについて、去年の実態はどのようなようであったのか。
図書館長	朗読テープの貸し出しや大活字本、自宅配本を行った。朗読テープはライトハウスから13件91巻借用して提供し、大活字本は約50冊購入、自宅配本希望者には39回229冊をお届けした。また、朗読CDは5巻購入した。
委員	ニュースで図書館の本が800冊程の投棄があったが、向日市は大丈夫なのか。
図書館長	向日市ではそのようなことは起きていない。蔵書点検を3年に1回実施しており、2年前に行った平成29年度は不明本が480冊となった。内訳は所在不明や、事務手続きミスなどである。現在、18冊の不明本が見つかっている。次の蔵書点検は、令和2年度に実施する予定だ。
委員	マンションの物を捨てる場所に立派な本が捨てられていたが、寄贈もあるのか。
図書館長	月に数件あるが、受け入れられない状態だ。古いものや既に所蔵しているものについては、リサイクルデーで無償で提供している。
委員	学校は朝読書に力を入れている。地域と連携が取れている学校は不要になった本を譲っていただいているようだ。

委員	<p>【文化資料館事業について】</p> <p>劣化したアップライトピアノを専門家により再生するというのだが、どのような経緯だったのか。</p>
文化資料館長	<p>西向日住宅地に古くからお住まいの個人宅にあった昭和9～10年頃製造の小さいピアノを、歴史的資料として保管している。経年劣化で今は音が出ないが、コミュニティ助成補助金を得てワークショップ形式で修理し、活用する予定である。</p>
委員	<p>【天文館事業について】</p> <p>盛りだくさんの企画をいただいているが、夏と冬に集中しているのはなぜか。</p>
天文館長	<p>子どもが対象である為、夏と冬に開催している。</p>
委員	<p>熟睡プラ寝たリウムはどういった事業なのか。</p>
天文館長	<p>11月23日の勤労感謝の日に合わせて24日に開催する。満天の星空の開設をし、寝てもらおうという企画である。明石市立天文科学館が立ち上げたもので、今年初めて賛同し、実施に至った。</p>
委員	<p>利用者を伸ばす一つのアイデアだと思う。</p>
委員	<p>天文教室は12人が定員なのか。30人というのは保護者も含めての人数なのか。</p>
天文館長	<p>会議室に12人しか机と椅子が用意できないのでそのようになっている。</p>
委員	<p>【文化財調査事務所事業について】</p> <p>市民考古学講座は講座が6回あるが、全て受講しなければならないのか。</p>
文化財調査事務所長	<p>1講だけの受講でも良い。それぞれの期間で募集する。6月1日に前半期の募集が始まる。</p>
委員	<p>向日市は小学生が古墳時代を学ぶ時期に併せて古墳見学を行っている。</p>
文化財調査事務所長	<p>石室見学は京都府下になく貴重である為、ぜひ見学していただきたい。</p>
	<p>議題3 令和元年度社会教育関係事業の予定について －事業予定について説明－</p>
	<p>【閉 会】</p>